

# 『PTA 広報誌のあり方を探る』 —家庭と学校をつなぐ PTA だよりをめざして—

山梨県立甲府東高等学校  
PTA 会長 梶谷 定範

## 1 学校概要

「私がブドウ畑に隠しておいたものを探すが良い。残らず見つかるだろう。」(イソップ物語) 本校は、昭和 52 年に甲府総合選抜 4 校の 1 校として、濁川と十郎川の合流地点に広がるブドウ畑を切り開いて建てられた緑豊かな学校です。JR 中央本線の酒折駅から徒歩 10 分、JR 身延線の善光寺駅から徒歩 15 分と交通の便が良い所にあり平成 19 年度に全県一学区化されてから、電車を利用して全県下から志の高い生徒が集まり、普通科高校として着実な発展を遂げています。平成 23 年には開校以来の制服を一新し、紺色のブレザーにチェック柄のズボン、スカートとなっています。全 18 学級 (各学年 6 学級)、制服のデザインが好評なこともあり女子生徒の比率が多くなっています。



本校では、充実した深い学びを実現するため、「55 分授業」を導入し、このプラス 5 分を前の時間の復習や問題演習、授業の振り返りなどに活用しています。さらに「カセット方式」を取り入れることで、金曜日は 5 校時までとし (理数コースは除く)、放課後はゆとりの時間として、「探求サブリ」、「部活動」等に有効活用しています。

部活動は、90%を超える入部率であり、水泳部 (水球部)、テニス部、バドミントン部、放送部などが全国、関東大会等へ出場しています。また、蒼龍祭 (学園祭) は、東高校のスタイル—熱くて、楽しくて、真面目—を生徒たちが自ら継承していく一大イベントとなっています。平成 26 年からは被災地支援活動を実施しており、東日本大震災の被災地、宮城県や福島県、台風 19 号による被災地、長野県に赴き、清掃活動や、被災者の話を聞く、交流するなどの活動を行っています。

進路状況は、約 99%の生徒が上級学校へ進学しています。令和 3 年度の卒業生は、235 名のうち、121 名が国公立大学に合格しました。

## 2 本校の PTA 組織

本校の PTA 活動組織は、全校役員と、各学年部会、学級役員が全員所属する 3 つの専門委員会 (生活指導、進路指導、保健体育)、学級役員から選出される広報委員会、女性部から構成されています。

具体的な活動は、生徒指導委員会では、あいさつ運動と登校指導、進路指導委員会では、進路講演会の運営補助、保健体育委員会では、クリーンキャンペーンへの参加などがあります。また、女性部を中心に、学園祭でバザーを企画、運営し、その売上金は学園祭の運営費の一部として生徒会活動に還元しています。広報委員会では PTA だよりを発行しています。

### 3 年間事業計画（令和4年度）

- 4月 7日（木）PTA 学級委員希望票配布  
8日（金）新入生保護者オリエンテーション、PTA 学級委員希望票配布（1年）  
22日（金）PTA 会計及び教育振興会会計監査  
第1回 PTA 学年委員会・専門委員会・女性部会・広報委員会・新旧理事会  
29日（金）PTA 学年総会、PTA 総会  
6月 2日（木）1年保護者対象進路研修会  
18日（土）蒼龍祭バザー準備、実施  
9月15日（木）2年保護者対象進路研修会  
21日（水）クリーンキャンペーン、除草作業  
10月18日（火）  
～20日（木）登校時マナーアップ指導  
11月11日（金）3年保護者対象進路研修会  
2月17日（金）第2回 PTA 学年委員会  
28日（火）PTA だより発行  
3月1日（水）3年 PTA 学年総会

### 4 広報誌（PTA だより）への取り組み

新型コロナウイルス感染症の影響で、ここ2年ほど PTA 活動が思うようにできませんでした。そのような中でも、広報誌作りについては例年と同様の活動ができました。むしろ、学園祭や授業公開、クリーンキャンペーン等が中止となり、保護者が学校へ来ることができず、学校の生の様子が家庭に伝わりにくい状況の中で、どのような内容を広報誌に取り上げたらよいかを考え、よりよい PTA だよりを作ろうという気風が生まれました。そこで、家庭と学校をつなぐという視点から、PTA だよりのあり方を再考したいと思います。

### 5 広報誌『With WE』について

本校の PTA だよりは、年1回、3年生の卒業式に合わせて毎年その前日に発行しています。タイトルの『With WE』は、「学校の広報誌である『WE』（これは the Wind blows from KOFU EAST High School という2文字から命名したもの）」と

共に』という思いから名付けられたものです。A3版二つ折り、フルカラー印刷というところのみ書式が決まっていますが、紙面の内容をどのように展開するかについては、その年の広報委員会に任されています。

### 6 広報委員会による企画・編集



本校の広報委員は、各クラス3名、6クラスで18名の学年 PTA 役員の中から、それぞれの学年で2名ずつ選出された6名で構成されています。3学年から選出された2名のうちのどちらかが広報委員長となります。

4月の PTA 学年員会、新旧理事会が終わった後、6名の顔合わせを行い、広報誌づくりの仕事内容の概要を説明しています。過去に発行された広報誌を見て内容を参考にしながら、本年度の広報誌をどのようなものにしていくか検討します。具体的な内容については11月に開催する第2回広報委員会で決めるので、それまでにそれぞれの委員のアイデアを温めておいてもらいます。

昨年度、第13号（令和3年度）の発行に向けた11月の広報委員会では、画像をなるべく多く使用して、学校での子どもたちの様子を伝えるものにしたいという方向性が確認されました。また、コロナ禍で年間計画どおりに行事が行えなかったことから、実際にどのような行事がどのようにできたのかわかるものを載せたいという案も出されました。

それぞれの行事に参加した生徒や保護者のコメントを集め、掲載する写真を選び、1月中旬に制作者にお願いしました。その後、2度の校正を経て2月28日に発行しました。



[illegible][illegible]

# 2021

## Activity Report

### 甲府東高 校の軌跡

いつも「With ～ 共に」という  
気持ちをもって、  
先生方と生徒たちと…

#### 4月

- 7日(木) 新校址、新校舎
- 18日(木) 入学式
- 27日(水) 授業開始

#### 5月

- 27日(水)～14日(金) 高校総会
- 19日(木)～28日(金) 第一定期考査

#### 6月

- 3日(木) 19年度直轄幹会(インテンシブ)
- 18日(金) 昌泰のバリエーション発表
- 27日(木) 昌泰のバリエーション発表
- 28日(金) 甲府県教育研究協議会
- 29日(土) 昌泰地区～甲府市立病院

#### 7月

- 29日(木)～21日(水) 学年中間考査
- 26日(水) 入学式、入学式後(入学式～入学式後)
- 27日(木) 入学式後(入学式～入学式後)

#### 9月

- 14日(水) 20年度直轄幹会(インテンシブ)

#### 10月

- 15日(木) 昌泰マナーアップ運動
- 18日(日)～17日(金) 第二定期考査

#### 11月

- 30日(木) 新校址、新校舎

#### 12月

- 1日(金) 高校総会
- 2日(土) WEB学校説明会、前期コース説明会(甲府12年度)
- 18日(金) 昌泰マナーアップ運動
- 19日(土) 昌泰マナーアップ運動

#### 1月

- 1日(日) 昌泰マナーアップ運動
- 2日(月)～25日(金) 第三定期考査
- 28日(日) 昌泰マナーアップ運動

#### 2月

- 1日(日) 昌泰マナーアップ運動
- 2日(月)～25日(金) 第三定期考査
- 28日(日) 昌泰マナーアップ運動

#### 3月

- 3日(月) 卒業式、新校址、新校舎
- 4日(火) 昌泰マナーアップ運動
- 5日(水) 昌泰マナーアップ運動
- 6日(木) 昌泰マナーアップ運動
- 7日(金) 昌泰マナーアップ運動
- 8日(土) 昌泰マナーアップ運動
- 9日(日) 昌泰マナーアップ運動
- 10日(月) 昌泰マナーアップ運動
- 11日(火) 昌泰マナーアップ運動
- 12日(水) 昌泰マナーアップ運動
- 13日(木) 昌泰マナーアップ運動
- 14日(金) 昌泰マナーアップ運動
- 15日(土) 昌泰マナーアップ運動
- 16日(日) 昌泰マナーアップ運動
- 17日(月) 昌泰マナーアップ運動
- 18日(火) 昌泰マナーアップ運動
- 19日(水) 昌泰マナーアップ運動
- 20日(木) 昌泰マナーアップ運動
- 21日(金) 昌泰マナーアップ運動
- 22日(土) 昌泰マナーアップ運動
- 23日(日) 昌泰マナーアップ運動
- 24日(月) 昌泰マナーアップ運動
- 25日(火) 昌泰マナーアップ運動
- 26日(水) 昌泰マナーアップ運動
- 27日(木) 昌泰マナーアップ運動
- 28日(金) 昌泰マナーアップ運動
- 29日(土) 昌泰マナーアップ運動
- 30日(日) 昌泰マナーアップ運動
- 31日(月) 昌泰マナーアップ運動

On  February 2022

そもそも、PTA だよりはいつから作られるよ

になったのか、これまでにどのような内容が掲載されてきたのか、それを過去の PTA だよりから探ろうと資料室をのぞいたところ、本校が創立された昭和 52 年の年度末に発行された第 1 号の PTA だよりを発見しました。私たち親世代が、まだ高校生になる前の、学校創立時の記事の内容には、「へえ、そうだったのか」と思うところや、「今と変わらないね」と思うところがあり、まさに教育の不易と流行を見ることができました。

第 1 号は、B3 サイズ 2 つ折り、見開き 4 ページのグレースケール印刷での発行でした。インターネットもなく、スマートフォンもない情報の伝達も遅い時代のことを考えると、PTA 広報誌は、学校での生徒たちの活動の様子を家庭に伝えるための 1 つの媒体として大きな役割を果たしていたのではないかと考えられます。



レイアウトを見ればわかるように、その基調は新聞にあると思われます。2 面には、PTA 座談会の内容が掲載されています。教頭を司会として、8 名の PTA 役員が意見を交わしています。先輩のいない、施設が未完成の新設高校にわが子を通わ

せる親の不安と期待が入り混じった議論には、いつの時代も子どものことを思う親の気持ちには変わりがないことを見取することができます。そこには「50 年後の東高を」という見出しがあり、未来を見据えて今の東高校を作っていこうという保護者の意見が載せられています。「自分たちがお父さんお母さんになった時に、あの学校を卒業したんだよ、と胸を張って言えるような基礎をつくってもらいたいですね。」そんな保護者の想いが積み重なり、現在に至っているということを改めて認識しました。本校は今年で創立 46 年になりますので、ちょうどこの時に想定していた 50 年後を迎えようとしています。いまの私たちはこの頃の保護者の期待に応えられているのでしょうか。

3 面には、『資料に見る東高生』として、進路からは模擬試験の成績状況（卒業生がいないので、進学実績がない）、保健室からは保健室の利用状況、生活指導からは遅刻者数、図書館からは貸出利用状況が載せられています。また、『昼食アンケート調査』を実施し、生徒たちがお昼休みに何を食べてどのように過ごしているのかがわかるようなデータが載せられています。

### 昼食アンケート調査結果

- 調査人数 1 年男子 74 名、女子 61 名 計 135 名（3 クラス）
- 調査項目及び結果

	男	女	計
1. 幼稚園、保育園時代は			
給食持参だった。	47	47	94
給食だった。	21	5	26
両方だった。	2	7	9
小学校時代は			
給食持参だった。	74	61	135
給食だった。	68	48	116
中学校時代は			
給食持参だった。	4	13	17
給食だった。	32	13	45

#### 2. 高校に入学して

##### I お弁当を忘れたことがある者、

##### 主な理由

- 遅刻しそうになり急いだので。
- 家族が忙しかった。
- 作ってあったが置き忘れてしまった。
- なんとなく忘れた。

##### その時はどうしたか。

- 家族が届けくれた。
- 外出許可証で買いに出た。
- 友達に分けてもらった。
- 食べずにすごした。
- その他。

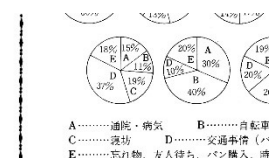
	男	女	計
II 朝食と昼食との関連は			
●朝はごはん食——昼はごはん食	46	29	75
●朝はごはん食——昼はパン食	1	1	2
●朝はパン食——昼はごはん食	11	10	21
●朝はパン食——昼はパン食	0	1	1
●特別には決めてない。	12	15	27
●朝食は抜き——昼はごはん食	2	3	5
●その他	2	2	4

##### III 昼食の持参はいつも自宅からである。

##### 全員

##### IV 家族の中で昼食持参の人は何人いるか。

	0 人	1 人	2 人	3 人	3 人以上
男	27	32	10	4	0
女	20	20	15	3	3
計	47	52	25	7	3



##### V お弁当を毎日作るのは主に誰か。

	親	本人	祖母	姉	その他
男	72	0	0	1	1
女	55	5	1	0	0
計	127	5	1	1	1

##### VI 昼食時によく利用する飲み物は何か。

	お茶	コーヒー、紅茶	牛乳	ジュース	全然飲まない	その他
男	27	1	8	10	23	5
女	6	0	10	15	30	0
計	33	1	18	25	53	5

##### ●学校の自動販売機をよく利用する

	よく利用する	時々利用する	全然利用しなかった
男	2	1	3
女	38	43	81
計	33	17	50

##### VII 昼食にかける時間はどれ位か。

	10 分位	20 分位	20 分以上
男	46	25	3
女	22	34	5
計	68	59	8

##### ●昼食後の過ごし方

	主に友達と話をしている	主にスポーツをしている	主に読書や予備復習をしている	その他
男	46	56	102	
女	19	0	19	
計	3	0	3	

4 面には、『写真に見る東高の証明』というタイトルで、山梨県高等学校総合体育大会や新人戦で活躍する生徒の姿や、合同運動会、スキー教室の様子など、できるだけ多くの写真を使って生徒た



ちの活動の様子を保護者に伝えようとする工夫が見られました。

この第1号を機に、この体裁で、翌年からは6月末と2月末の年2回、PTA だよりを発行していきます。あるものを使った記事作りではなく、座談会を企画したり、アンケート調査を行ったりとPTA だよりを充実させるための取り組みがあり、創立時の教員と保護者の「よい学校を作っていこう」という意気込みが感じられました。また、編集後記には、このPTA だよりを新年度に入学する保護者の方々にも読んでいただいて、新設当時の悩みや、この1年間の姿を知っていただきたいという意向が書かれていました。PTA だよりが現在在籍している生徒と保護者のためだけでなく、新たに進学してくる生徒や保護者にとっても有益な情報となる媒体であることがわかりました。そして、こうして40年以上が経過した私たちにとっても、当時の保護者の想いを知ることのできる貴重な資料となることもわかりました。

## （2）モノクロ時代の PTA だより

これまで新聞に似た形式だった PTA だよりが、2009 年（平成 21 年）度に、A3 サイズ 2 つ折り、見開き 4 ページのカラー1 色刷りの書式に変更されました。発行回数は年 2 回ですが、発行日が 9 月 1 日と、3 月 1 日になっています。

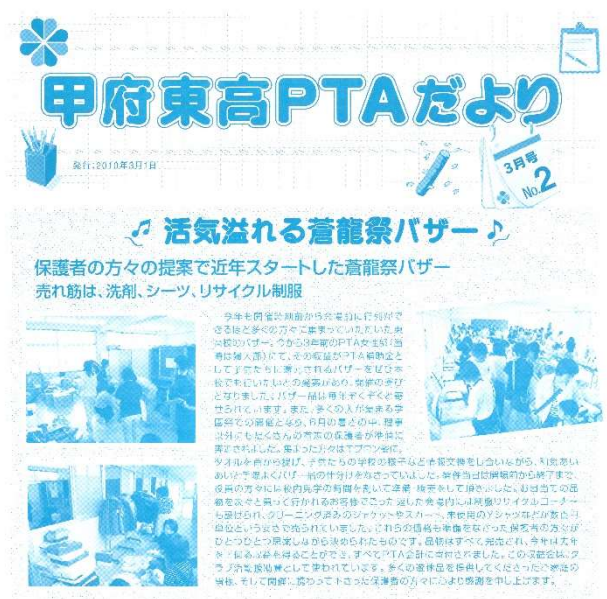


年 2 回の発行ということもあるのか、情報量は少なめで、余裕のある紙面づくりになっています。表紙のタイトルの下には、PTA だよりらしく、PTA の行事が特集されています。この頃は、保護者による保護者のための PTA コンサートが恒例

行事として本校の文化創造館で開催されていたようです。



また、第2号には現在も続いている蒼龍祭でのバザーが特集されており、記事よりバザーが開始されたのが 2006 年であること、保護者からの発案ではじまったことを知りました。現在では、PTA の活動も縮小傾向にあり、なかなか学校へ来る機会も減ってはいますが、必要なことがあれば自分たちの発案ではじめることもできるということがわかりました。



## （3）フルカラー版 PTA だより

現在と同じ、A3 サイズ 2 つ折り、見開き 4 ページのフルカラー版の書式になったのは、2013 年（平成 25 年）度からです。発行回数は年 2 回でしたが、コストの都合で 2018 年からは、年 1 回の卒業式に合わせて発行という形になりました。



モノクロからカラーに変更されたことも、編集委員からの要望で、生徒たちの写真をカラーで家庭に届けたいという思いがもとになりました。



カラー印刷になってから、使用する写真へのこだわりが強くなりました。表紙を飾る写真には、生徒たちの生き生きとした表情が見て取れるベストな1枚を使うようにしました。また、PTA会長、校長の写真も、証明写真のような顔写真ではなく、生徒たちとの触れ合いの一場面を用いるなどの工夫もするようになりました。



見開きの特集は、生徒たちが学園祭で描いている全先生方の似顔絵で構成しました。これは、学園祭の公開日に来校した保護者が、生徒たちが描いた似顔絵を見て思いついた案です。毎日、授業中に穴が開くほど観察している先生方の表情や癖がここぞとばかりに愛情をもって表現されている。ここに東高校の生徒たちと先生方との信頼関係を感じたそうです。似顔絵の下には、PTAの広報委員が考えた「もし、タイムトラベルができるとしたら？行ってみたい場所？時間は？」という問いに対する回答が書かれています。

写真へのこだわりは、このページの下側にいる左右の2名の生徒写真にもあらわれています。これは紙面の編集者がここにこういうポーズをした生徒を載せたいということで、後から生徒に注文して撮影したものです。

PTA だよりの内容は、文章やデータ、活動写真を載せるというだけでなく、1つの作品として企画することで、PTA だよりだからこそ伝えられるものが完成することがわかりました。

## 9 おわりに

これまで PTA だよりは、義務的に発行するべきものとして、手続き的に取り組むものだと思っていました。限られた紙面しかない PTA だよりで、保護者に生徒たちの何が伝わるのだろうか疑問に思いながら作ってきました。また、ほとんどの個人がスマートフォンを持ち、記憶に残したい場面はすぐに写真として撮影ができ、それを SNS で共有できる社会の中で、ある1枚の写真を紙面に印刷して配布することに何の価値があるかと考えることもありました。しかしながら、今回、こうして過去の PTA だよりを振り返り、限られた紙面だからこそ、どの写真を選び、何を伝えるのかを考えることを通じて、保護者からの視点で、他の保護者や生徒、教職員に伝わるのだということがわかりました。同じ写真や記事を共有することで会話が生まれ、それをきっかけにしてつながりができていく。そのようなものとして、これからも「家庭と学校をつなぐ」をテーマに PTA だよりを作成していきたいと思います。